

ケモミミ戦記 破

トラック1…残された物

…(正面15センチ)

// (食事中の主人公にチキンの骨を貰おうとする)

・(人見知りした様子で)

すまない、今、いいか？

ありがとう、でも別に大した事じゃないんだ。

もし、鶏肉の骨…捨てるんだったら…

その…私に出来ないか？

嫌ならいいんだ、ただ…腹が減ってな…

人間は骨を食べないと聞くから…

// (主人公…少し待ってて)

19 ん、席を外すのか？

20 あ、ああ。待つさ。急がなくていい。

21 大切な食料は私が見張っているから安心してくれ。

22 誓って盗み食いはしない。

23 大丈夫だ、では。

24

25 ・（独り言）

26

27 中々緊張したな…

28 でも、聞いてみてよかった。

29 獣人相手でも、まともに相手してくれる人間がいるんだな…

30 …これが人間用の弁当か。

31 いいな、人間は。

32

33 //（ルイナの分の弁当を持って帰ってきた）

34

35 ああ、戻ったのか。しっかりと見張っていたぞ。

36 …もう一人分食べるのか？

37 随分と腹が減っていたんだな。

38 え…それ、私にか？

39

40 ・（遠慮する）

41

42 流石にそんな施しは受けられない…

43 本当に、骨さえくれればいいんだ。

44

45 //（主人公…遠慮しないで）

46

47 で、でも…私は何も返せないんだ。

48 金は無いし…物もない…

49

50 ・（主人公…一緒に食べよう）

51

52 一緒に食べたいのか…？

53 そんな事でいいのなら…

54 だが、獣人と一緒にいたらお前が悪い目で見られるだろ。

55 …本当に変わった奴だな。

56 お前が いいのなら…是非、一緒に食べさせてくれ。

57

58 ・(食後、主人公に少し懐いてきた)

59

60 本当に助かった。

61 十分な量の食事をするのは数年ぶりだろうか…

62 人間用の物は味が濃いんだな、私たちの配給よりずっと美味い。

63 …何故、こんなに良くなってくれたんだ？

64

65 ・(周囲の視線に萎縮して)

66

67 やはり周囲の視線を集めてしまっているな…

68 少し…緊張する…

69 人間は皆、獣人を見下している物だろ？

70 …金ができたら絶対に返す…この恩は忘れない。

71

72 // (主人公…別にいいよ)

73

74 そうか…

75 …優しいな。

76 お前は良いやつだ。

77 でも、絶対に返す。

78 お前みたいな人間に迷惑をかける訳には行かない。

79 金は無いが何か私に払える物があるならなんでも言ってくれ。

80

81 // (主人公…また一緒に食べよう。)

82

83 また一緒に…?

84 それは私しか得していないだろ。

85

86 // (主人公…君と一緒にいるのは楽しい)

87 ・ (うぶな感じ)

88

89 つまり、私を口説いてる…のか…?

90 あ、い、いや！今のはなんでも無い…

91 ばか、私に限ってそんな訳ないだろ…

92 そ、その…じゃあ、また会いに来て…良いのか？

93 ほ、本当か…！

94 もし嘘だったら、とても悲しい…

95 でも、お前のことだ。信じよう。

96 明日も…毎日でも会いに来るが…

97 本当に良いんだな…？

98 ふふ…そうか、ありがとう。

99 じゃあ、今日はそろそろ…

100 あ、その…やっぱり鳥の骨も…貰っていいか？

101

102 トリック2…溶けゆく物

103

104 // (それから何度も会い、完全に懐いている。)

105 ∴ (正面15センチ)

106 ・ (主人公に会いに来たが見当たらない)

107

108 ふふ…今日は何をぞ馳走してくれるのだろうか…

109 えっと…いつもはこの辺に…

110 …見当たらないな。

111 どうしたものか…

112 あそこに居るのは…確かあいつの知り合い…だった気がする。

113 聞いてみるか？

114 いや、しかし…

115 まあ…なるようにはなるか。

116

117 ・（人見知りしながら）

118 …（正面10センチ）

119

120 すまない、少し聞いてもいいか？

121 その、人を探していて…

122 あ、そ、そう、いつも一緒に居させて貰ってる…

123 …知ってるのか？

124 それは…少し照れるな…

125 わ、私は別に…一緒に居れるだけでいいんだ…

126 そんな事より、あいつから何か聞いてないか？

127 まだ寝てる…？

128 ああ、夜間の警戒勤務にあたっていたのか。

129 そうか…それは仕方ないな。

130 今日は帰る事にする。ありがとう、助かった。

131

132 // (合鍵をもらう)

133

134 ん？

135 これは…鍵？

136 合鍵か…そんな物を渡されても困る…

137 そもそも人間寮への立ち入りは許可無しでは許されない。

138

139 // (特別に入れてくれるらしい)

140

141 入れてくれるのか…？

142 しかし…何故…

143 いや、折角の好意だ。ありがたく受け取ろう。

144 私は獣人だと言うのに、親切にしてくれるんだな。

145

146 ・(椰揄われて真っ赤になる)

147

148 だ、だから！私とあいつはそんな関係じゃない！

149 これ以上を望んだら…きつと嫌われてしまう…

150 …何がおかしい。

151

152 トラック3…傷物

153

154 // (寝ている主人公をじっと眺めている)

155 ∴ (正面5センチ)

156

157 あ、起きたか。

158

159 ∴ (正面10センチ)

160

161 お疲れ様…だな、邪魔してるぞ。

162 お前の友人が入れてくれたんだ。

163 驚いたか？

164 それはそうか。ふふ…

165 勝手に何かする訳にも行かないからな。

166 じつと寝顔を見ていたんだが…

167 意外に楽しかった。

168 食事はこれからだろ？

169 その…よかったら私に作らせてくれないか？

170 いつものお返しをさせてくれ。

171 人間の寮にはキッチンがあるんだろ？

172 材料なら、さつき捕まえて来た。

173 種類はよく分からないが…鳥だ。

174 ほら、活きがいいだろ？

175 きつと美味い。

176

177 // (主人公…家にあるの使つていいから逃してきて…)

178

179 ……

180 いや、お前の部屋にある物を使ったら恩返しにならないだろ。

181 そんなに言うのなら仕方ない、後で逃がそう。

182 じゃあ、部屋にある物…使わせてもらうぞ。

183 ふふ…期待していてくれ。

184

185 ・（料理しながらの会話）

186 //（右斜め前20センチ）

187

188 料理の本が好きで、よく読んでたんだ。

189

まあ、実際にやれる機会はほぼ無かったけどな。

190

191 //（棚を調べる）

192

193 …ふむ、野菜と…ソーセージ位か。

194

今日は簡単な物でいいか？

195

あまり材料が無い。

196

分かった、今日はソーセージと野菜のソテーにしよう。

197

刃物は…ここか。

198

さて…

199

確か本では…こう…いい感じにやってたな。

200

ふふ…やっぱり楽しい物なんだな…料理。

201

202 //（主人公…今までやれなかったんだ。）

203

204 ああ、私は見ての通り…あまりいい生まれじゃ無いからな。

205 POCHI（ポチ）シリーズの後期型なんだが…知ってるか？

206 そう、戦闘用に交配を重ねて作られてきた獣人だ。

207 初期型と違って混ざり物が多いし歴史が浅いからな…

208 忠誠心ちゅうせいしんに欠ける個体が多いから調教で躾けるんだ。

209 お陰で片目を失ったし、身体中傷だらけだ。

210 子供も…作れない。

211

212 //（主人公…ごめん…）

213

214 …別にお前が謝る事じゃないだろ。

215 一応軍部が買い取ってくれたお陰で、今も生きてる。

216 それに、こんな不良品でも値が張るんだ。

217 軍部から私を買い戻すには後数年は働かないといけない。

218 えっと…油は…あった。

219 まあ、実際生きてる意味が分からなかった。

220 死ぬまで生きてるだけだな。

221 いつか自分を買戻しても…

222 別に特段したい事も無かった。

223 どうせ長くは無いしな。

224 でも、最近は少し…楽しい。

225 きつとお前のお陰だ。

226 ふふ…

227 よし、出来た。

228

229 ∴（正面10センチ）

230

231 ほら、食べてくれ。

232

233 ・（ドキドキしながら）

234

235 その…美味いか…？

236 そうか、よかった…

237 なんだか、照れくさいな…

238 でも、それ以上に嬉しい。何故だろうか。

239

240 ∴（主人公…毎日でも食べたい）

241

242 ふふ…毎日でも食べてくれるのか？

243 それは…なんだか、プロポーズみたいだな。

244 なんて…冗談だ。

245 でもあまりそう言うことを言うな。

246 勘違い、してしまう…

247

248 ・（気まずくて話題を変える）

249

250 洗い物…しないとだな。

251 食べ終わったら食器、置いといてくれ。

252

253 トリック４…結ばれる物☆

254

255 …（正面１５センチ）

256 ・（気まずい感じ）

257

258 これで洗い物は終わり…と。

259 少し作り置きもある、よかったら食べてくれ。

260 …なんだか気まずい、お前があんな事言うからだ。

261 別に私は嫌^{うざ}じゃない…嫌じゃ無いからこそ…

262 そう言うことは言わないで欲しい…

263 胸が苦しくなる。

264

265 //（主人公…本気だよ）

266

…本当に本気なら、何か、こう…示すべきだと…思う。

267

そういう事は、男からして欲しい…

268

269

…(正面5センチ)

270

・(キス待ち)

271

272

わっ…抱きしめられてしまった。

273

あっ…ああ…私は大丈夫だ。

274

本気なんだな。

275

私も…好きだ。

276

キス…してくれ。

277

んっ…

278

279

・(キス)

280

281

んん…んっ…はあ…はあ…

282

んっ…んん…ふはっ…はあ…はあ…

283

こゝこれは…本当に現実なのか…?

284

絶対に夢だ…こんな事、私に限って…

285

286

287 ・(押し倒される)

288

289 わっ…押し倒すなら言ってくれ。

290 心の準備つてものがあるだろ。

291

292 ・(怖がっている)

293

294 …それに待ってくれ…

295 ここより先は…だめだ…

296 私の体を見たら、きっと幻滅されてしまう…

297 わ、私はもう十分だ。

298 本当に幸せだから…

299 すまない…もう、訳が分からなくて。

300 お前を…失いたく無い。

301 頼む…

302 …本当に嫌いにならないか？

303 お前が思ってるより、ずっと私の体は…醜い。

304

305 ・(主人公…大丈夫)

306

307 …本当か？

308 責任…とって貰うからな。

309 なら、信じよう…

310 でも…できればあまり見ないで欲しい…

311

312 // (脱ぐ)

313

314 はは…やはり醜いな…

315 お前もそう思うだろ？

316 体の傷は…普段は傷まないんだ。

317 でも、お前と会う時だけ…痛む。

318 …憐れむような顔をしないでくれ。

319 抱く気が失せてしまったか？

320 別に…仕方の無いことだと思う。

321 私の体を受け入れよとしてくれただけで十分…嬉しい。

322 …今日は帰る、邪魔して悪かった。

323

324 // (傷を舐められてびっくりする)

325

326 ひゃっ//…ー

327 い、一体何を…

328 傷跡…舐めてくれたのか。

329 んっ//

330 擦くすったいだろ…

331 わ、分かった…もう大丈夫だ…

332 全部の傷を舐めていたら夜が明けてしまう…

333

334 ・(胸を舐められてちょっと怒る)

335

336 なっ//…！

337 今のは…お前が舐めたかったただけだろ。

338 …変態。

339 お前の体も見せてくれ。

340 私ばかり不公平だ。

341 服…脱がすぞ…？

342

343 // (主人公の服を脱がせる)

344

345 綺麗な体だな…

346 少し…妬いてしまう。

347 し、下の方は…その…

348 凄く、元気だ。

349 さ、触って欲しいのか？

350 じゃあ、少しだけ…

351

352 ・（興味津々）

353

354 つん…ツンツン…おわっ…

355 じっとしてくれ、ビックリするだろ。

356 …すんすん…なんか…臭いな。

357 すんすん…でも…クセになる匂いだ。

358 ああ…すまない。

359 悪気はないんだ。

360 …握ってみるか…

361 ぎゅっ…と。

362 意外と熱いんだな…

363 触っているだけでそこそこ楽しい…

364 だが…

365 なあ…そろそろ…。

366 私は大丈夫だ…痛い物には慣れているし…

367 お前が乱暴なこと…する訳ない。

368 子はどうせ作れない、だから…直接繋がろう。

369 お前のタイミングで…頼む。

370 やり方…分かるか？

371 私はあまり詳しくないぞ。

372 分かるのか、それは良かった。

373 …手、握ってくれ。

374

375 // (挿入)

376 ・(少し痛がった後、泣いてしまう)

377

378 あっ…んん…んっ…だ、大丈夫だ…

379 はぁ…はぁ…

380 全部…入ったのか…？そうか…

381 お前と繋がれたんだな…うう…

382 うっ…

383 ち、違うんだ。

384 痛くなんかない。

385 本当だ。

386 だって、痛みは…辛くて冷たい…孤独で悲しい物だろ…

387 こんなに…優しくて…温かい…満たされる幸福な物が…

388 痛みな訳がない。

389 うう…ありがとう…本当に…

390

391 // (抱きつく)

392 .. (右耳側0センチ)

393

394 好きだ…大好きだ、愛してる。

395 絶対に離さない…

396 お前の…家族になりたい…

397

398 // (主人公…もう家族だよ)

399

400 …本当か？

401

402 .. (正面5センチ)

403

404 なら…私に傷跡をつけてくれ。

405 そうしてくれれば…

406 もう傷跡が痛む事はない。

407 お前が私にくれた物になるんだからな。

408 ん…？

409 いや、今つけてもらった傷は外から見えないだろ。

410 少し待ってくれ。

411 人間の爪や歯では少し難しいか…

412 ああ、そうだ。

413 確か私の服に…

414

…（一度後ろを向いて物を取る）

415

416
417 あ、あつた…

418 ほら、私のナイフだ。

419 大丈夫…お前になら刃物を向けられても怖くない。

420 例え殺されてもな…お前になら…

421 ふふ…何処に付けてくれるんだ？

422 顔とか、いいと思う。

423 目立つしな。

424 あ…なぜ仕舞うんだ？

425 …また今度、か。

426 それは…残念だ…

427

428 〃（主人公…今日は僕に傷をつけてよ）

429

430 え、私がお前に…？

431 それは…ダメだ。

432 私と違って綺麗な体をしてるんだ。

433 大切にしろ。

434 うう…分かった…じゃあ、なるべく目立たない場所に…

435 …お前は私の物だって、印をつけられるのか。

436 やっぱり、少し目立つ場所にしよう。

437 首筋…噛むぞ。

438

439 …（左耳下5センチ）

440 ・（噛み付く）

441

442 あむ…

443 んん…

444

445 …(正面5センチ)

446

447 ふう…

448 痛くないか…?

449 …私の真似をするな…

450 全く…

451 多分すぐ消えると思うが…

452 少しの間は…お前は私の物だ。ふふ…

453 しかし…お前と体の相性が随分良いのかもしれないな。

454 ずっと繋がっていたい程よく馴染む。

455 お前は…どうだ？

456

457 ・(嬉しそうに)

458

459 そうか…ふふ…

460 我慢出来なくなっても大丈夫だ。

461 いつでも私の中に射精してくれ。

462 それ以外に…使い道がないからな。

463 女としても…欠陥品だ…

464 まあ…どうせ長くはないしな。

465 元からそのつもりは無い。

466 今は…ただお前と幸せになりたい…

467 なあ…交尾は、繋がるだけじゃなくて…

468 もっと動いたりするんだろ？

469 すまない、私はよく分からないんだ。

470 お前に任せてもいいか？

471 ああ、お前の好きなようにしてくれていい。

472 きつと…私もそれが一番好きだ。

473
474 // (抽送 ゆっくり)

475 ・(声が漏れる様に喘ぐ)

476

477 んっ…ああ…大丈夫だ…

478 そういう風に…腰を動かすのか…

479 ゆっくりと…んん…私の中を…はあ…はあ…

480 これは…とてもいいな。

481 はあ…はあ…

482

// (恥ずかしがって濁す)

お前の…お、おちん…の形が…

よく伝わってくる。

// (頭を撫でられる)

ん…？

えへへ…

頭を撫でられるの、好きだ。

もっと…してくれないか？

えへへ…

いつも叩かれてばかりだったのに。

お前には優しくして貰ってばかりだ。

大好きだぞ。

もうお前無しでは生きていけない。ふふ…

んっ…さつきより、お、おちん…ちん…大きくなったな。

私なんかで興奮してくれるのか…

なあ、一体私の何処がそんなに気に入ったんだ？

503 ・（目線が胸に向いて、嫉妬する）

504

505 …今の目線で分かった。

506 やっぱり男はみんなそうなんだな。

507 はあ…お前は違うと思っていたのに…

508 ほら、お望み通り押し付けてやる。

509

510 //（抱きつき）

511 …（左耳0センチ）

512

513 めゆっ…じ。

514 胸だけじゃなくて…私も見ろ。

515 こんなに密着すると…暑い…

516 ん…？

517

518 …（正面5センチ）

519

520 お前のおちんちん…何だか脈打って…

521 そろそろ…なのか？

522 お前の顔…凄く気持ち良さそうだ…

523 我慢なんかするな。

524 そのまま限界になったら…

525 好きなだけ射精してくれ。

526 激しくされるより…ゆっくりの方が長く楽しめそうだ。

527 ふふ…もうちょっとなんだろう？

528 頑張ってくれ…♡

529 おわっ…凄く…暴れている。

530 私は別に逃げたりしない。

531 だから落ち着け。でも…

532 その、必死に我慢している顔も…素敵だ♡

533 ふふ…声が漏れてしまっているぞ。

534 いいな…

535 私も…声、出してみるか。

536

537 ・(少し棒な感じの喘ぎ)

538

539 んん…ん…

540 んっ…んん…

541 はぁ…はぁ…

542 んっ…んっ…んん…

543 んっ…ん…ふう…

544 …あんまり、可愛くできないな…

545 お前はこんなに可愛く喘いでると言うのに…

546 ん…？

547 …射精しそうなのか。分かった。

548 それなら…一番奥に…な？

549 ああ、私はもう満足してる。

550 気にするな。

551 ほら、こんなに愛し合った射精…

552 絶対に気持ちいいはずだ。

553 ん？

554 合図…して欲しいのか。

555 ふふ…分かった。

556

557 …（右耳0センチ）

558 ・（囁き声）

559

560 射精の合図…してやる。

561 それじゃあ…

562 えっと…

563 その、射精の合図って…なんだ？

564

// (射精)

565
566 ∴ (正面5センチ)

567 あ…

568 射精…してるのか？

569 そうか。

570 私の中で射精…しちゃったんだな。

571 一番気持ちいい時の顔を見損ねた…残念…

572 ふふ…

573 なあ…キス、したい。

574

// (キス)

575

576
577 ん…ん…ちゅ…ん…

578 んん…ふふ…

579 はあ…今日は慣れないことばかりで酷く疲れた。

580 その…今日は…泊まってもいいか…？

581 …できれば一緒にいたい…

582 だめ…か？

583

584 // (主人公…いいよ)

585

586 ふふ…ありがとう。大好きだ。

587 今夜は精一杯甘えさせて貰うぞ。

588 明日からは…お前も私に甘えていいからな。

589 でも、今は…私が甘える…

590 腕枕と言うやつを…して欲しい…

591 えへへ…いいな…これ。

592 本当にこれが現実なのか…

593 明日…起きた時、お前が居なかったら…

594 泣いてしまいそうだ。

595 でも、少なくとも今は…目の前にいる。

596 ふふ…これが幸せと言うやつか。

597 きつと…これは夢なんだろうな。

598 …私には過ぎた夢だ…

599 もう少し…そっち、寄るぞ。

600

601 ・(添い寝60秒)

602

603 …(正面10センチ)

604 ・(寝起き)

605

606 ん…朝…か。

607 こじは…

608 …よかった、現実だ。

609 …なんだ…これ。

610 血…？

611 何処から出血したんだ。

612 私か…？

613 まあ…いいか。

614 寝顔…可愛いな。

615 私の家族になってくれたんだ。

616 …仕事、頑張らないとな。

617 必ず自分を買戻す。そして…

618 お前に私を買って貰う。

619 ふふ…返品不可だ。

620

621 // (鳥が鳴いている)

622

623 …昨日捕まえた鳥か、少し煩いな。

624 やっぱり食べることにしよう。

625 …まあ、今じゃないな。

626

627 ・(ちよつと困り気味)

628

629 私の服…どこだ…

630 あった。

631 …シワだらけじゃないか。

632 でも仕方ない。服を畳むような時間はなかった。

633 …こう言う時、どうすれば良いのだろうか。

634 起こして聞いてみるか…

635 いや、やめておこう。

636

637 ∴(右耳5センチ)

638

639 今は…この寝顔がただひたすらに愛おしい…

640 ふふ…

641

トラック5…所有物

642
643

644 …(右耳20センチ)

645 ・(緊張した感じ)

646 // (二人でお散歩の待ち合わせ)

647

648 えっと…あ、あそこか。

649

650 …(正面10センチ)

651

652 すまない。

653 待たせたか？

654 その…準備に手間取ってしまつてな。

655 服とか…色々…悩んだ…

656

657 // (主人公…似合ってる)

658 ・(嬉しそうに)

659

660 そうか。

661 ふふ…お前に褒めてもらえると、

662 凄く嬉しいな。

663 悩んだ甲斐があった。

664

665 …(右耳15センチ)

666

667 しかし、お前は本当にもの好きだな。

668 本当にただの散歩だぞ？

669 人間のお前が付いてきても、あまり楽しく無いと思うが…

670

671 ・(恥ずかしそうに)

672

673 でも、私は…お前と一緒にだ…

674 いつもより楽しい。

675 ふふ…

676 今日は、いつもよりゆっくり回ろう。

677 お前と長く居たいからな。

678 ほら、逸れたら大変だ。

679 手、繋いじう。

680 …？

681 何恥ずかしがっているんだ？

682 私達は家族だろ。遠慮するな。

683

684 // (手繋ぎ)

685

686 ふふ…以外に恥ずかしがり屋なんだな。

687 私は、お前のそんな所も好きだぞ。

688 …私に好きな人間ができるなんてな。

689 いや、それ以上に私を好きになってくれる奴がいた事が意外だ。

690

691 ・(恥ずかしそうに)

692

693 なぁ、私をその…

694 選んでくれた理由、聞きたい。

695 …やっぱり胸なのか？

696 それとも違うのか？

697

698 // (主人公…性格とか…)

699 ・(嬉しそうに)

700

701 ……そうか…

702 なんか、照れくさいな。ふふ…

703 ん、私か？

704 ふふ…お前も気になるんだな。

705 それは…内緒だ。

706 悪いな。

707 でも、女に秘密は付き物だ。

708 ふふ…

709 まあ、いつか…時が来たら教えてやる。

710 ああ、約束だ。

711

712 トリック6…絆物☆

713

714 // (前回より数日後)

715 ∴ (正面10センチ)

716 ・ (少しテンション高め)

717

718 あ、えっと…おかえり。

719 少し遅かったんじゃないか？

720 随分待った気がする。

721 ふふ…

722 ああ、とても楽しみにしていたんだ。

723 今日、やっと私に傷をつけてくれるんだろ。

724 何処にするのか決まったのか？

725 …耳にするのか。

726 いいな、獣人の象徴でありよく目立つ。

727 刃物、持ってこよう。

728 …いらないのか？

729
730 // (獣人用のピアス)

731

732 何だ、それ？

733 よく分からないが…任せる

734

735 ∴ (正面下5センチ)

736

737 ああ、いつでも大丈夫だ。

738

739 // (取り付ける)

740

741 いたっ…

742 穴でも開けたのか。

743 おわっ…

744 何ガチャガチャやってるんだ？

745 ん、終わったのか。

746 えっと…鏡は…

747

748 ・(嬉しい)

749 ∴(正面10センチ)

750

751 これ…耳飾りか。

752 綺麗だな…

753 私に、似合ってる…か？

754

755 // (主人公…可愛いよ)

756

757 そうか。

758 ふふ…やっぱり、お前には貰ってかりだな。

759

760 // (駆け寄ってハグ)

761 :: (左耳0センチ)

762

763 大好きだ。

764 お前も抱きしめてくれ。

765 えへへ…

766 私も何かお返しをしてやらないと、だな。

767

768 ・ (恥ずかしがる)

769 :: (正面10センチ)

770

771 そうだな…

772 いつもお前が欲しがっているもの…

773 ああ…そういえば。一つ、心当たりがある。

774 胸、触ってみるか？。

775 いつも見ているの…流石に気づいているからな。

776 別に責めは…しない。

777 お前だけじゃないからな…からかってくる奴だっている。

778 …犬系の獣人には発育のいい個体が少ないから、きっと目立つんだと思う。

779 私と同じ位の大きさの奴は…一人しか見た事がない。

780 それを…お前だけが好きにしていんだ。

781 ほら、触らないのか？

782
783 // (胸を揉まれる)

784

785 んっ…//

786 そうがつつくな…逃げたりしない。

787 …楽しいのか？これ。

788 そうか…お前がいいならいいんだ。

789 好きにしてくれ。

790 …どうしたんだ？

791 ちょ、直接…触りたいのか。

792 …本当に特別…だからな？

793 じゃあ…少し待ってくれ。

794

795 ・ (独占欲強め)

796

797 はあ…お前、結構変態…なんだな…

798 私以外にその一面は…絶対見せたらダメだ。

799 私だけで…いい。

800 ほら…恥ずかしいから、早く済ませてくれ…

801 んっ…んん…

802 なんか…触り方…いやらしくなった…

803 支える様に持つな…

804 変態…

805 …胸、結構重いだろ？

806 ああ、凄く邪魔だ。肩も凝る。

807 だから、こんな物いらないとずっと思っていた。

808 でも、お前が気に入ってくれたからな、

809 今はちよつと自慢に思っている。

810 ふふ…

811 鼻息、さっきより荒くなってるぞ？

812

813 //（勃起している事に気づく）

814

815 ん…？

816 勃起、してしまったのか。

817 スポン越しでも分かるほどに大きくなっている…

818 外に出してやらないと窮屈だろ。

819 脱がすぞ？

820 …おお。

821 ふふ…こんなに勃起させてしまったのか。

822

823 …（正面下5センチ）

824 ・（匂いを嗅ぐのが癖になつてゐる）

825

826 すんすん…やっぱり臭いな。ふふ…

827 もう一回だけ…すんすん…ふふ…

828 ああ…悪かった、隠さないでくれ…

829 癖になつてしまつて…

830 …お前の匂い、好きなんだ。

831 臭いと言うのはその…悪い意味じゃなくて…

832 な、だからあと一回だけ…

833

834 //（だめ）

835

836 うう…そんな…

837 な、なら…もう一回嗅がせてくれたら…

838 パイズリ…してやる。

839 棚の奥にしまつてある本…

840 読んだ…

841 その本の中に…書いてあつた。

842 胸でおちんちんを挟んでやると、男は喜ぶと。

843 お前も好きなんだろ？

844 でないと、あんな本を持っている訳がない。

845 してやるから、匂い…嗅がせてくれ。

846 ふふ…ああ、絶対だ。

847

848 ・（興奮気味に匂いを嗅ぐ）

849

850 それでは…すん…すんすん…はあ…はあ…

851 すんすん…すう…はあ。

852 うん、これは…いいものだ。

853 ありがとう、お陰で満足できた。

854 約束だ、パイズリ…しよう。

855 確か…お前の本ではローションを使っていたんだ。

856 何か代用できる物は…

857 なるほど。私の唾でも良いのか。

858 よし、任せてくれ。

859 お前のおちんちん…とても大きくなっているな。

860

861 // (唾を吐きかける)

862

863 ん…ぺっ…

864 よし、これでいいか。

865 …？

866 違ったのか？色んなやり方があるんだな。

867 でも、お前のおちんちんは嬉しそうだ。ふふ…

868 さて、早速挟むとしよう。

869

870 // (パイズリ)

871

872 こう…か？

873 熱いな…胸の中に動物が入り込んだみたいだ。

874 ふふ…谷間から顔を出している。

875 少し可愛いな。

876 しかし、私の胸ですら収まり切らないとはな。

877 お前のおちんちん、とても大きいんじゃないか？

878 ふふ…謙遜するな。

879 きつと牛の獣人でないと挟みきれない大きさだ。

880 私の胸じゃ物足りないかもしれないが…

881 パイズリ、どうか堪能してくれ。

882

883 // (パイズリ ゆっくり)

884

885 こう…いい感じに挟みながら…上下に…

886 少し難しいな。

887 でも、お前の顔、今までで一番気持ち良さそうだ。

888 これ、いいな。パイズリ。

889 お前の顔がよく見える。

890

891 ・(ちよつと驚く)

892

893 おわっ…

894 おちん…ほ…今、ぴくぴくと震えたな。

895 ふふ…

896 ん？ああ。

897 お前の本に載っていた女は、おちんちんの事をおちんぽ。

898 と呼んでいたんだ。

899 きっとパイズリに適した呼び方なんだろう？

900 だから私もパイズリをしている間はそう呼ぶ事にした。

901 ふふ…おちんぼ、沢山挟んでやるからな。

902 私の大きくて柔らかい胸を…ぎゅ…と…

903 おちんぼ、ガチガチだな。

904 胸の形がおちんぼに合わせて変わってしまう。

905 どうだ、気持ちいいか？

906 私の胸は大きいだけでなく、もちもちとしているし…

907 触り心地も、きつといいからな。

908 こればかりは自信がある。

909 ふふ…その顔、とても気持ち良さそうだ。

910 今回は射精する時の顔、絶対に見逃さない。

911 胸の動きを少し変えてみよう。

912 左右交互に…ふふ、少し楽しいな。

913 よく反応してくれるから、やり甲斐がある。

914 あ、お前のおちんぼ、先っぽからヌメヌメを出している。

915 ああ、知っているさ、我慢汁という奴だろう？

916 おちんぼ、気持ちよくなっているんだな。

917 もっとギュツとしてやる。

918 ふふ…凄く熱いな。

919 もっと滑りが良くなった。

920 こう…ズリ…ズリ…ふふ…

921 おちんぼ、凄く震えて…

922 射精、したいのか？

923 分かった、スピードを上げるから好きなタイミングで射精してくれ。

924 …私に合図して欲しいのか？

925 ああ、勿論いいぞ。

926 じゃあ…私の合図に合わせてくれ。

927 パイズリ、激しくするからな。

928 ん…ふふ…

929 まだだ。

930 もっと強く…

931 まだ射精しちゃダメだぞ。

932 その方がきつといい射精ができる。恐らく。

933 おちんぼ、とても苦しそうだ。

934 でも、だめだ。ふふ…

935 お前その必死に射精を我慢している顔、好きだ。

936 そろそろ射精させてやるからな。

937 おちんぼも、もうダメそうだ。

938 いいぞ、私の胸で射精してくれ。

939

940 ・（命令するように）

941

942 ほら、出せ、おちんぼ、泣くように射精しろ。

943

944 //（射精）

945

946 おわっ…谷間から噴水のように…

947 ま、まだ止まらない…

948

949 ・（ちゅっとムツとして）

950

951 ん…顔にまで…

952 おちんぼ、胸で閉じ込めよう。

953 まだ出てる…

954 …終わったか？

955 そうか、ふふ…

956 凄い射精だったな、お疲れ様だ。

957 あ、しまった…

958 射精に気を取られてまた顔を見損なった…残念

959

960 …(正面10センチ)

961

962 精液…凄くベトベトだ。

963 んん…とても濃い匂い…

964 かし…

965 胸の中だけでなく、顔 まで飛んできたぞ？

966 責任を持って、拭け。

967 ちゃんと綺麗にしてくれないと、もうしてやらないからな。

968 ふふ…そう慌てなくていい。

969 あ、後…お前の本、全部捨てたからな。

970 なぜか、嫌^{うざ}だった。悪いな。

971

972 トリックフ…落ちゆく物

973

974 // (前回より数ヶ月後)

975 ・(すっかり懐いた様子)

976 ∴(正面10センチ)

977

978 ん、ただいま。

979 こんな時間まで、待っていてくれたのか？

980 すまない、最近は任務が忙しくてな。

981 でも、お陰で給料は上がったんだ。

982

983 ・(恥ずかしがる)

984

985 上手くいけば…もっと早くお前に飼ってもらえる。ふふ…

986

987 // (主人公…無理しないでね)

988

989 あ、ああー任せてくれ。

990 それに、私は大丈夫だ。

991 エリート揃いの部隊だし、最近は危険な場所にはあまり行かないんだ。

992 対して装備も揃ってない、国内の不穏分子ふおんぶんしの排除が主な…あ…

993

994 ・(慌てて)

995

996 今のは…聞かなかった事にしてくれ。

997 その…一応、機密情報なんだ。

998 …胸を張っていい仕事じゃない事は分かってる。

999

1000 ・(真面目な感じ)

1001

1002 でも、これは帝国と何よりお前の為だ。

1003 人は死なないと変わらない。

1004 傷はいつだって不平等だ。

1005 でも、流れる血は皆平等に赤く^{よど}澱んでいる。

1006 不平等な傷だけが、死という結果で人を平等にしてしまつ。

1007 なのに、人は平等を望む。

1008 だからな、これからも私は、血が尽きるまで傷を作る。

1009 行き着く先は、きつと破滅だろうな。

1010 でも、お前はそんな私を愛してくれるんだろ？

1011

1012 // (主人公…戸惑いつつ頷く)

1013

1014 ふふ…今までで一番…困った顔をしているな。

1015 その愛に…必ず答えてみせる。

1016 だから、お前は高潔であれ。

1017

1018 トリック8 ☆ ∴ 見つめる物

1019

1020 ∴ (正面10センチ)

1021 ・ (お誘い)

1022

1023 なあ…今日も私の相手、してくれるか？

1024 良かった、ありがとう。

1025 でも、今回は私の事を気にしないでくれ。

1026 男は…その、自分で性処理をする事があるんだろ？

1027 それを見せて欲しいんだ。

1028 お前の事を今日はじっくり観察したい。

1029 私は左目が見えないから、行為の最中だとよく見えないんだ。

1030 だから頼む、一度でいいから射精する時の…

1031 お前が一番気持ちいい時の顔を見てみたいんだ。

1032

1033 // (主人公…いいよ)

1034

1035 ふふ…ありがとう。

1036 それでは…

1037

1038 …（右耳0センチ）

1039 ・（囁く感じの落ち着いた感じ）

1040

1041 隣で…見てる、自由にしてくれ。

1042 ん、少し近すぎるか？

1043 許せ、私は目が悪いんだ。ふふ…

1044 もう…おちんちん、大きくなっているな。

1045 もし刺激が足りなかったら言ってくれ、

1046 私の体で良かったら好きに触っていい。

1047 そうか。

1048 なら…その、がんばれ。応援しているぞ。

1049

1050 //（オナニー 開始）

1051

1052 おお…そうやってやるのか。

1053 上トにシ〇…シ〇…と。

1054 顔、赤くなってるじゃないか。

1055 別に恥ずかしがる事じゃない。

1056 今のお前、とても可愛い…と思うぞ。ふふ…

1057 更に赤くなったな、食べてしまいたくなる。

1058 でも今回は見るだけ…我慢だ。

1059 おちんちん…見ているだけで熱気が伝わってくる。

1060 必死にシコシコして…大変そうだ。

1061 胸、さっきから当ててはいるが…

1062 きつと物足りないだろ？

1063 今…脱ぐから待ってくれ。

1064

// (上を脱ぐ)

1065

1066

1067 よし…直接触っていいぞ。

1068 遠慮するな、好きなんだろ？

1069 それに、私も…お前に触って貰うの、好きだ。

1070 ふふ…

1071 おちんちん、ぴくぴくと反応した。

1072 素直でいいな、お前も見習うべきだ。

1073 ふふ…[♡]_♡ 擦[♡]_♡りたい。

1074 私の胸…大きくてよかったな。

1075 ん…？

1076 息…漏れてるぞ。

1077 顔、もつとよく見せろ。

1078 ふふ…

1079

1080 ∴(正面0センチ)

1081 ・(キス)

1082

1083 ん…ちゅ…ん…ん…

1084 ん…ん…ちゅ…はぁ…はぁ…

1085 もう少し…ん…ん…ちゅ…

1086 ふふ…もつといい顔になった。

1087

1088 ∴(右耳0センチ)

1089

1090 邪魔したな、気にせず続けてくれ。

1091 ∴見てて思ったんだが…

1092 おちんちんをシコシコするの…上手いな。

1093 私も負けてられない。

1094 なぁ…続きは私にやらせてくれないか？

1095 私だってお前のおちんちんとの付き合いは長いんだ。

1096 きつと上手くやれる。

1097 それに…

1098 お前の気持ち良さそうな顔もとてもいいが…

1099 私で気持ち良くなってる顔が見たい。

1100 よかった…じゃあ、シコシコ…しよう。

1101 ふふ…おちんちん、ガチガチだ。

1102 沢山気持ちよくしてやるからな。

1103

・(火照った感じ)

1104

1105

1106 ああ…その顔…素敵だ。

1107 その溶けてしまいそうな表情…

1108 だ、だめだ…我慢しないと…

1109 なあ、射精、そろそろしないか？

1110 ま、まだなのか…うう…

1111 早くした方が…いいと思う。

1112 手伝うから…な？

1113 早めにしよう。

1114 ギュッと握るぞ？

1115 ふふ…

1116 おちんちん…熱くなってきたな。

1117 思わず頬擦りしてしまいたくなる。

1118 なんだかおちんちんの滑りが…

1119 ああ、我慢汁がこんなに出てきていたのか。

1120 前に飲んだ精液は酷い味だったからな。

1121 多分これも不味い。

1122 まあ…お前が望むなら、飲むが。

1123 ふふ…

1124 もっと胸、揉んでいいから…我慢せずに射精を見せてくれ。

1125 今回も私が合図、出すぞ。

1126 絶対に見逃さない。

1127 おちんちん…とても膨らんできたな。

1128 シ〇シ〇…シ〇シ〇…ふふ…

1129 先っぽの鈴口が…すぐく開いている。

1130 もう、出そうなんだな？

1131

1132 // (主人公…まだ我慢できる…)

1133

1134 ふふ…ダメだ、我慢は良くない。

1135

1136 ・(命令する感じ)

1137

1138 ほら、出せ、さっさと射精しろ。

1139

1140 // (射精)

1141 ・(発情した感じ)

1142

1143 あぁ…これがお前の…

1144 快楽に溺れた顔…

1145 とても素敵だ…

1146

1147 トリック☆…獣

1148

1149 ∴(正面10センチ)

1150 ・(発情している)

1151

1152 はぁ…はぁ…

1153 ありがとう。とても良いものが見れた。

1154 そして…もっ少し…付き合え。

1155 だ、大丈夫だ、お前はおちんぼを硬くしてればいい。

1156 私に全て委ねてくれ。

1157 多分…悪いようにはしない。

1158 押し倒すぞ…

1159

1160 ：（正面5センチ）

1161

1162 はあ…はあ…

1163 おちんぼ…挿れるからな…

1164

//（挿入 騎乗位）

1165

1166

1167 ん…ん…！

1168 ああ…お前のおちんぼ…いい…

1169 あんっ…ん…声…我慢出来ない…

1170 はあ…はあ…

1171 好き…好き…好きだぞ…

1172 お前が好きだから…私は…

1173 はあ…はあ…

1174 お前に愛されたから…私は…幸せなんだ。

1175 好きだ…

1176 んっ…んん…はあ…はあ…

1177 返事…しろ…

1178 私の事、好き…か？

1179 好きなんだな？好きだよな？

1180 ああ…大好きだ…

1181 一緒に気持ち良くなろう。

1182 子作りでもなんでもない、ただ快楽を貪るセックス…

1183 これは…素敵な事だ…

1184 繋がる事だけが…私達が家族という事を証明してくれる…

1185 血は流せても…血を残せない、欠陥品の私を…

1186 お前とのセックスだけが、お前のその恍惚とした表情だけが、

1187 私を女にしてくれる。

1188 おちんぼ…びくびくと痙攣しているな。

1189 勿論、今回も私の合図でなきや、射精をしてはダメだ。

1190 ふふ…ほら、もっと溶け合おう。

1191 胸、揉んでくれ。

1192 ふふ…そう…それでいい…

1193 私を…女にしてくれ…

1194 ん…ん…はあ…はあ…

1195 私の体…どうだ？

1196 私は…お前の体、とても好きだ。

1197 ふふ…そんなにいいのか。

1198 嬉しいな、でも、射精はまだ、だぞ？

1199 んんっ…はあ…はあ…

1200 実を言うと…私はもう何度も絶頂を迎えている。

1201 ふふ…これも、不平等かもな♡

1202 あんっ…ん…ん…

1203 はあ…はあ…

1204 ふふ…

1205 また一回増えてしまった♡

1206 でも…仕方ないだろ。

1207 男は一回きりなのだから、

1208 それに、お前もさつき射精したじゃないか。

1209 だから…もっと耐えられるはずだ。

1210 ほら…もつと締め付けてやる…

1211 お互いの体液が混ざり合って…すごい事になっているな。

1212 ん…どうした？

1213 我慢、出来ないのか？そうか…

1214 私の合図を待てない、悪いおちんぼなんだな。

1215

1216 ∴（左耳0センチ）

1217 ・（脅し）

1218

1219 勿論だめ、だ。

1220 もし勝手に射精したら、そうだな…

1221 お前の目の前で他の男に抱かれてやる。

1222 きつと凄く辛い事になる。

1223 私はお前以外の男に決して抱かれないのに…

1224 私の胸にしか興味の無い男…

1225 それもきつと乱暴に犯される。

1226 醜い傷だらけの体を蔑さげすまれながら…

1227 胸だけ沢山揉まれてしまっただろうな。

1228 でも、大丈夫だ。

1229 お前が射精を我慢すればいいだけだからな。

1230 それとも…他の男に犯される私を見たいのか？

1231 嫌なら…耐えろ。ふふ…

1232

1233 …（正面5センチ）

1234

1235 腰…激しく打ち付けるからな。

1236 射精は我慢、だぞ。

1237 ん…んっ…んん…

1238 あっ…あっ…あんっ…んん…

1239 んっ…はあ…はあ…

1240 だ、だめだ。まだ、我慢しろ。

1241 ん…おちんぼ…いい…んん…

1242 今までで一番…硬く…大きく膨らんでいる…

1243 んっ…はあ…はあ…

1244 そうか、もう無理なのか。

1245 それは、残念だ。

1246 私を犯したい男、探さないとだな。

1247 はあ…はあ…

1248 んっ…んん…ふふ…

1249 いい顔になったな。

1250 ああ…その絶望を孕んだ表情…

1251 それが見たかった。

1252

1253 ・（落ち着いた様子）

1254

1255 ふふ…すまない、少し意地悪をしてしまった。

1256 もう大丈夫だ、射精、していいぞ。

1257 ほら、中出しお射精、好きなだけしろ。

1258 お射精、ピュッピュッ

1259

1260 //（射精）

1261

1262 ん…凄い勢いだな。

1263 相当無理させてしまったみたいだ。

1264 悪かった、その分沢山気持ち良くなってくれ。

1265 ふふ…落ち着いたか？

1266 良かった、お疲れ様、だな。

1267 その、勿論さっきのは冗談だからな。

1268 お前以外には絶対に抱かれない、お前のお願いでもだ。

1269 少し、魔が刺してしまった…

1270 でも、おかげで良いものが見れた。ふふ…

1271

1272 ・（反省してる）

1273

1274 本当に悪かったと思ってる、そう怒らないでくれ。

1275 また今度胸、触らせてやるから、な？

1276 分かった、じゃあパイズリもする。

1277 ふふ…ああ、約束だ。

1278 お前との約束は絶対だからな。

1279 とりあえず、一緒にシャワー、浴びに行こう。

1280 流石に疲れた。

1281 …その後に散歩…付き合ってくれと、助かる。

1282

トラック10…残す者

1283

1284 //

1285 （数ヶ月後、夜に二人で散歩）

1286 ・（少し寂しげな感じ）

1287 ∴（右耳10センチ）

1288

1289 もう、随分と暗いな。

1290 ふふ…すまない、

1291 こんな時間に散歩をしたいだなんて言ってしまったて。

1292 でも、たまには良いんじゃないか？

1293 見慣れた道だが…夜には新たな一面が見れる。多分。

1294 私は夜目が効くからあまり変わらない。ふふ…

1295 やっぱり…私はあまり、こういう雑談は苦手みたいだ。

1296 あのな、聞いてくれ。

1297 …終わりが、近いんだ。

1298 お前と会えた事以外…あまり良い事のない人生だったが…

1299 それだけで、私は世界一の幸せ者だと、確信を持って言える。

1300 近いうちに私は殺される。上手く行けばな。

1301 …黙っていて悪かったが、私はどのみち長くない。

1302 私は…生き物としても欠陥品なんだ。

1303 無理な配合と調教は、

1304 その能力と引き換えに寿命を大幅に削る。

1305 私はその中でも落ちこぼれたったが。

1306 だから、最後に正しい事をしようと思った。

1307 私の友人に、まともなせいで苦しんでいる奴がいるんだ。

1308 そいつが楽になれる道を…私が作る。

1309 お前と後数年だけ生きて、穏やかな死を迎える。というのも悪く無いと思う。

1310 でも、こっちの方がお前の家族として、胸を張れる選択だと思った。

1311 私は…お前に憧れたんだ。

1312 きつとお前みたいになりたかったんだろうな。

1313 ふふ…

1314 これ…私の部屋の鍵だ、受け取ってくれ。

1315 お前の合鍵も…返す。

1316 頼む…受け入れてくれ。

1317 私の死を。

1318 お前には…沢山迷惑をかけたな。

1319 今こうして散歩をしている時でも、

1320 私の視界が悪い左側を歩いてくれる。

1321 その優しさもお前の大好きなところだな。ふふ…

1322 一度、お前と海が見たいと思ったが…

1323 多分違った、海を見ているお前が見たかったんだ。

1324

1325 :: (正面10センチ)

1326

1327 ……まで連れ添ってくれてありがとう。

1328 今日は…自分の部屋に帰る事にする。

1329 最後に…色々と準備をしないといけない。

1330 きつと…これで最後だ。

1331 寂しくなるな。

1332 最後にキス、しよう。

1333

1334 // (キス)

1335

1336 んっ…

1337 ふふ…

1338 その顔は…お前に…させたくなかったな…

1339 すまない…そして、ありがとう。

1340

1341 // (数日後、死の間際)

1342 ・ (急所を刺されて、苦しんでいる)

1343

1344 傷が深すぎる…

1345 これは…絶対に助からないな。

1346 ふう…やつと…終わるのか…

1347 おかしいな…死が…恐ろしい。

1348 何故…ああ、そうか、あいつのせいか。

1349 あれは…幻だったんじゃないか？

1350 あまりに…私には過ぎたものだった。

1351 もし現実なら…確かピアスが…

1352 んん…指先の感覚がない…

1353 これか…？

1354

// (ピアスを引きちぎる)

1355

1356

1357 いたっ…ああ…現実なのか…

1358 なら…死にたく…ないな…

1359 でも…もう…血が…止まらないじゃないか…

1360

1361 // (ソリス≡友人)

1362

1363 もう一目だけ…あいつの顔が見たい…

1364 ああ…クソ…

1365 ダメか…

1366 ソリス…恨むからな…

1367

トラック11…残されたもの

1368
1369

1370 // (数日後、主人公がルイナの部屋を訪れる)

1371 ・(遺書、ルイナの回想)

1372 ∴ (正面10センチ)

1373

1374 あまり手紙を書くのは得意じゃないんだが…

1375 お前には色々伝えなくちゃいけないんだ。

1376 汚い文かもしれないが、どうか読んでほしい。

1377 まず、最初に、私の友人…ソリスをどうか恨まないで欲しい。

1378 彼女は帝国に必要な人材だ。

1379 私を殺すことで、強引だが彼女は歩み続けてくれるはず。

1380 私を殺すように仕向けたのも私自身だ、彼女は何も悪くない。

1381 そして、私の部屋に鳥が一羽飼ってあるだろ？

1382 どうか面倒を見てやって欲しい。

1383 お前と家族になれた日に捕まえた、幸運の鳥なんだ。

1384 でも、もしお腹が空いたなら食べてもいいぞ。

1385 捕まえた時より太っているから。

1386 きつと食べ頃だ。

1387 勿論、お前へのお返しはしっかり用意してある。

1388 私を買い戻せるだけの金、実は溜まっていたんだ。

1389 あの日、お前が私に奢ってくれた弁当、その代金として受け取って欲しい。

1390 私の事は忘れて…いや、でも…

1391 その…覚えててくれれば良いんだ。

1392 それ以上は望まない。

1393 新しい女が出来ても恨まないさ。

1394 お前には牛の獣人がオススメだ。

1395 きつと私の死は極秘に処理される、私の名前は今後絶対に出すな。

1396 これで以上だ。

1397 愛しているからな。

1398 どうか永遠に高潔であってくれ。

1399 お前の家族 ルイナより

1400

1401 ps 書くか迷ったんだが…

1402 実はお前に貰った鶏肉の骨…綺麗に洗って、とつてあるんだ。

1403 嫌じゃなければ…どうかお前が持っていて欲しい。

1404 鳥の骨言葉？は…

1405 残さないもの、だ。

1406

ケモミミセンキ 破 完

1407

1408